

令和2年度第3回米子市指定管理者候補者選定委員会 会議概要

1 日 時 令和2年10月12日（月） 午後2時開会

2 場 所 米子市役所本庁舎5階 議会第2会議室

3 出席者

委員

細田委員長、入江副委員長、青砥委員、大谷委員、北農委員、郡委員、林委員

所管部局

市民生活部環境政策課（朝妻市民生活部長、藤岡環境政策課長、環境政策課職員）

福祉保健部長寿社会課（景山福祉保健部長、塚田長寿社会課長、長寿社会課職員）

福祉保健部障がい者支援課（景山福祉保健部長、仲田障がい者支援課長、障がい者支援課職員）

事務局

辻総務部長、岡経済部文化観光局長、瀬尻総務管財課長、総務管財課職員

4 会議概要

[1 開 会]

[2 委員長あいさつ]

[3 諮 問]

- ・米子市心身障害者福祉センター・米子サンアビリティーズ
- ・米子市淀江温浴施設
- ・米子市淀江農林産物直売施設
- ・米子市皆生市民プール
- ・米子市体育施設及び米子市都市公園

[4 議 事]

(1) 指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の審議

①【米子水鳥公園、米子水鳥公園ネイチャーセンター】

所管部局の市民生活部環境政策課が、指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の選定過程などを説明した。

【質疑等】

（委員） 基本的には「普通」評価。障がい者の支援をされて物品を購入・販売されたり、女性管理職を新たに登用されるといった取組みをされていることで、これらの項目の評価は「普通以上」の評価にされている。

中海水鳥国際交流基金財団が設立のときに県からの出資があったという話があったが、現在も鳥取県からこの財団に支援・指導もされているのか。

（所管課） 鳥取県と米子市が半額ずつを出資して設立された団体で、指定管理の業務以外に、環日本海交流に関する事業を行っており、この事業は鳥取県の委託と補助事業であり、財団独自の事業を行っている部分がある。ただ施設は同じ水鳥公園で実施しているので指定管理業務と財団独自の業務を合わせて施設の機能向上に努めている。

- (委員) 県の補助事業からも人件費などを出されているか。
- (所管課) 人件費ではなく事業費そのものです。令和2年度までは補助事業として米子市単独の補助金で指導員業務をしている非常勤職員1名の人件費を補助していた。こちらが中海の生態系調査研究補助事業を行っており、この県と市で行っている事業に対し、事業費の半額の県補助をもらって行っている。ただ、この指導員の人件費は市が補助を行っていたが、令和元年度から指定管理業務が増え、補助事業で配置している職員に指定管理業務も実施していただいているため、指定管理業務の実態に合わせ、補助金を委託料に変えて、指定管理委託料の中に整理をした。県の関与は、県から3年に1度、公益財団法人として監査を受けている。
- (委員) 県も財団としての監査を実施していると。
- (委員) 県の委託事業とか市の補助事業があるということだが、補助事業だと自主事業に近い形になるのではないかと思うのだが、財団で自主事業をされる考えは無いということか。
- (所管課) 指定管理に関するものについては各施設の設置条例があり、行う事業について定めがある。指定管理で行う自主事業としては該当がないという意味です。ただ、財団全体での事業があるので、独自の事業が別途されている。
- (委員) ボランティアの方がたくさんおられると思うが、ボランティアは交通費も昼食も無いのか、実態はどうか。
- (所管課) 水鳥公園友の会という任意の団体を作っていただいて、様々なイベントを行っている。子どもたちへの環境学習の行事を行い、積極的に指導していただいたり、児童文化センターのイベントでも、協力をいただいている。現在、水鳥公園で常勤の指導員が2名、その他に非常勤の職員がいるが、水鳥公園を助けていただいている。設立当初からボランティアをしてくださっているベテランの方もおられる。

②【米子市シルバーワークプラザ】

所管部局の福祉保健部長寿社会課が、指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の選定過程などを説明した

【質疑等】

- (委員) 同種の施設との比較表という資料があるが、松江市のシルバーワークプラザや境港市の老人福祉センターなどと比べると運営費がひと桁違う。非常に格安でやっていたらいい。特に人件費が計上されておらず、これが「管理経費の節減の見込み」の項目で、「優れている」の評価。そのほかの項目は現状どおりとして「普通」評価。
- (委員) 事業計画書の〔今後の在り方〕に「地域の経済雇用状況を反映して就業等の需要、機会はやや減少傾向で施設利用も同じ傾向である」とあったが、シルバー人材センターそのものが以前と比べると少し下りの兆候があるのか。
- (所管課) 比較しやすい指標としてシルバーの会員数があるが、大体760~770人くらいで現状維持という実績。縮小ということはなく、事業もいろいろと拡大をしていく方向で取り組んでいる。健康寿命の延伸や高齢者が健康で生きがいを持つてということを考えて、引き続き力を入れていきたいところです。
- (委員) シルバー人材センター自体運営が、350万円収入が減ることだから、大

丈夫かという気はするが。

(所管課) 市で想定しているのは職員2人として試算しているが、基本的にシルバー人材センターの職員兼務でシルバー人材センターの業務をやりながら指定管理業務もやっていただくということで、シルバー人材センターの事業の予算の中でやっていただけるということです。

(委員) これまでも同水準でやっておられたということか。

(所管課) そうです。

③【米子市中心身障害福祉センター、米子サンアビリティーズ】

所管部局の福祉保健部障がい者支援課が、指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の選定過程などを説明した。

【質疑等】

(委員) 「同種の施設の管理実績があるなど必要な管理能力を期待することができるか」について、A社の事業計画書の資料を見ると、「過去5年間の実績はありません」と管理実績は無いと。評定の付け方には「実績は無くても同種の施設の運用実績を見て」ということもあったが、この評価とした判断基準はどういったことからか。

(所管課) A社は指定管理の実績はないですが、A社グループとして医療サービス・介護サービスを提供し、病院や老人保健施設の建物の管理を行っており、福祉分野での一般相談の委託事業所として、市とも委託受託の関係で業務を行っており、建物管理にもセンターの事業の遂行にも力量的に十分に備わっていると判断したが、指定管理の実績は無いため「普通」評価とした。

(委員) 今後、特記事項に明記していただきたい。

(委員) 「障がい者雇用促進」に関する項目について、A社は障がい者雇用率がすごく高いにも関わらず「普通」評価なのか。

(所管課) 確かに高い数字だが、A社は職員数の母数が少ないので障がい者の雇用が何人かあると数字が上がる。対してB社は従業員数が多いので、雇用率の数字を単純に比較するのはいかななものかということで「普通」評価とした。

(委員) A社の収支予算書の利用料金収入を見ると市の試算の額より大きく、利用者数の増を見込んでだと思いが、このコロナ禍の状況で、市としては利用者が増えるという事業者の見込が実現可能と見ているか、利用数はある程度減っても仕方がない等、そのあたりの判断について教えてもらいたい。

(所管課) コロナの関係で利用者数は計画通りに行かない部分もあるかと思うが、見込めるのだろうとは感じた。コロナの状況やその他の状況で変わる可能性はあるが、法人の見込み通りにいかないとしてもやり繰りはしていただくべきと判断している。

(委員) 医療系専門職員、医療従事者とは具体的に言うと看護師か、医師か。

(所管課) 理学療法士など、A社グループで雇用している方を相談業務に就かせるというもので、所長が理学療法士の資格を持っており、医療系の職員が常駐する。

(委員) これまではそういう形態ではなかったということか。

(所管課) 今の職員は資格のある方ではない。

その他意見無し

【審議結果】

選定結果に基づく市の評定結果に異議はなく、市の評定どおり候補者案が承認された。

〔5 その他〕

第4回会議の開催について、令和2年10月19日に会議の開催を予定していることが確認された。

〔6 閉会〕